

## 公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構

### 2017年度 研究事業計画書

昨年度は、英国のEU離脱、そして保護主義的な政策を唱えたトランプ政権の誕生と、これまでグローバル化をけん引してきた英米に大きな変化が生まれた一年であった。こうした出来事は日本にとっても対岸の火事ではない。むしろ、差し当たり顕在化していないだけで、病根はより深い。グローバル化や第四次産業革命という各国共通の要因に加えて、わが国は少子高齢化、人口減少や社会保障費増大に伴う巨額の財政赤字など、課題先進国ともいえる状況にある

NIRAは、市場経済と民主政治との間の軋轢が生まれるなかで、社会がどう変化しているのか、また、解決策は何か、について、多面的な視点から研究を実施してきた。これまでの研究をさらに深化させ、日本、世界の動向の変化をいち早く把握し、社会のニーズにこたえる研究を引き続き実施するとともに、国民の合意に向けた実効性ある政策提言を発出する。

#### 1. 研究調査事業

NIRA の長期方針の基本は、自立 (independence) と自律 (autonomy) を2つの柱にして民主主義と市場経済が潤滑に働くことを目指す。特に民主主義と市場経済の弱点を最小限にし、長所が十分に伸びるために現代の日本のシステムのどこを改善していくかということの本事業の最大の目的とする。

具体的には、以下の研究調査事業を実施する。

##### ① 民主政治と市場経済：中核層を軸に信頼社会を築く

近年の情報化・グローバル化の進展は、地球規模の経済発展をもたらす反面、経済社会の不安定性を深刻化させ、ひいては人々の疎外感を生んでしまった。民主政治と市場経済の緊張を緩和し、両者の機能を高める方策が求められているにも関わらず、新たなルール設計までは至っていない。

そのため、その根底にある問題点を探るとともに、負担のあり方についての合意を実現するための政治のあり方を探る。

また、地域の課題を解決するためのローカルな場でのコモンズを育成するための方策についての検討を行う。

## ② 情報化社会における日本の課題

ITは、産業分野のみならず、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）、人工知能（AI）にみられるように、社会の在り方を根底から変えつつある。グローバル競争の挑戦を受ける日本の戦略は何か。日本固有の文化はどのような役割を果たしうるのか。

そこで、AIが就労の価値や在り方をはじめ経済社会に及ぼす影響について検討するとともに、AIの到来を目前とした事前対応のあり方、情報化社会における「信頼」構築のための方策、金融分野や新たな社会インフラとしての情報技術を育成するための戦略について提言を行う。

## ③ 財政規律と少子高齢化

高齢社会の下で財政規律を確保するためには、社会保障改革の実現しか道はない。しかし、同時に、高齢者の就業を促進し、国民負担増を軽減することが、社会保障改革を進める上での鍵となる。

こうした改革を妨げている問題点に生活者として真摯に向き合い、高齢者の就業を促進するための方策、国民生活の質の向上と負担の抑制を実現するための社会保障改革、また、その前提となるマクロ経済政策運営の在り方について検討を行う。

## ④ 地域経済の自立

情報や科学技術の社会への応用は地域にこそ適応される。その実現のためには、地域に多様な人々が集積し、知恵・技術・資金が結びつき、連携を軸に新たな展開へと発展していくことが重要となる。

そこで、地域における自治体や政府の在り方など、IT技術を駆使した新しい政府の姿を提示する。

## ⑤ 政策連携

日米間で共同して政策連携を実施することが効果的な政策について、米国の大学等との連携の下、「日米の多角的な政策連携の構築」プロジェクトを実施し、グローバルな政策課題における日米連携の在り方について検討を行う。

## 2. 政策論議を深めるための情報発信

日本・世界が直面する広範な政策課題について、問題の核心を分かりやすく提示する。

### ① オピニオンペーパー

NIRAが擁する有識者のネットワークを活用しつつ、的確かつタイムリーな政策提言を行い、世論を喚起する。

### ② わたしの構想

重要な課題について、複数の識者の見解を示すことで論点を多面的、具体的に分かりやすく提示する。

### ③ SPACE NIRA

重要な課題を取り上げ、複数の外部有識者の異なる見解を、専門家たる第三者が中立の立場から評価し、海外向けを中心に広く発信する。

### ④ 政策レビュー等

重要な課題について、各界で活躍する専門家との対談を継続的に実施することによって、多面的な視点から問題点を明らかにする。

### ⑤ モノグラフシリーズ等

機構内外の研究者が重要な課題について多角的・多面的な独自の調査・分析を行い、問題を提示する。

以上